

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	08	02	05	0401	橋梁整備事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-2	生活基盤の充実			
	施策	1	道路環境の充実			
目的	老朽化、狭隘幅員の橋梁架け替え整備					
対象	整備が必要な市道橋梁、市道利用者（車両、歩行者、沿線住民）					
意図	安全で快適な通行が可能になる。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
橋梁整備 3橋 平成26年度 ①似内橋：旧橋撤去 ②豊沢橋：旧橋撤去、橋梁下部工工事、占用物件移設補償 ③太田橋：取付道路工事、橋梁下部工工事、上部工製作						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		補助・助成		
事業協力・協定		委託				
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	測量設計調査	橋	計画	3	2	
			実績	3	2	
②	用地取得及び物件補償	橋	計画	1	1	
			実績	1	1	
③	橋梁工事及び取付道路工事	橋	計画	2	2	
			実績	1	3	
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	整備（完成）率（天遊橋、似内橋、豊沢橋、太田橋）	%	目標	25.0	50.0	
			実績	25.0	50.0	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
【H26成果指標の設定根拠】 平成26年度似内橋完成（完成2橋／整備予定4橋＝整備率50％）		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない	市管理橋の整備のため、妥当である。
有効性	成果の向上余地 <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="radio"/> 向上余地がない	本事業は、市道橋梁の新設・架け替えを行うものであり、整備後は道路環境を満足させた水準となることから、さらなる向上は難しい。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	事業を実施するうえでは、計画・設計・説明会・関係機関協議・用地取得・工事積算・工事監督業務等多岐にわたるが、現在でも効率的な事業の執行に努めている。 また、外部委託を行なうなど人件費の削減に努めているが、守秘義務等の問題があり、外部委託にも限界がある。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	市道橋梁は不特定多数の人や車が利用するものであり、受益者を特定することは出来ない。
総合評価 …上記評価結果の総括		
橋梁整備の事業費は高額であるが、重要性、緊急性、要望等を検討し、今後も必要な整備を進める必要がある。		

平成 26 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名
一般	08	02	05	0401	橋梁整備事業

単位：千円

		25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		320,055	542,408		222,353
財源内訳	国・県	212,639	358,153		145,514
	地方債	96,800	165,500		68,700
	その他				
	一般財源	10,616	18,755		8,139

事業期間	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰返	<input type="radio"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	--	----------------------------	-----------------

部経営方針における目標

安全、安心で快適な生活基盤の充実に努めます。

事業開始の背景・経緯

老朽化および交通量の増加に伴い、架け替えおよび拡幅による整備が必要となった。

事業概要

橋梁整備 3橋
平成26年度
①似内橋：旧橋撤去
②豊沢橋：旧橋撤去、橋梁下部工工事、占用物件移設補償
③太田橋：取付道路工事、橋梁下部工工事、上部工製作

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

- ・工事の計画的かつ迅速な発注により、適切な工期の設定を行なう。
- ・地域ニーズに応じるため、地域の実情に即した設計・規格を設定する。
- ・新技術・新工法の採用を積極的に行い、コスト削減を図る。

担当部署 部名 建設部 課名 道路課 担当係長 筑後貴之 内線 574

(単位：千円)

【事業手法の詳細】…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

平成26年度橋梁整備事業

- ① 似内橋 事業費：30,002千円
昭和38年 架橋
事業期間 平成17年度～平成26年度予定
橋梁延長 L=76.4m 幅員 W=10.0m
道路改良 L=543.6m 幅員 W= 6.0m
- ② 豊沢橋 事業費：214,920千円
昭和8年 架橋
事業期間 平成20年度～平成29年度予定
橋梁延長 L=133.0m 幅員 W=15.0m
- ③ 太田橋 事業費：297,486千円
(うち繰越分 82,169千円)
昭和35年 架橋
事業期間 平成22年度～平成29年度予定
橋梁延長 L=144.0m 幅員 W=11.0m
道路改良 L=320.0m 幅員 W= 8.5m